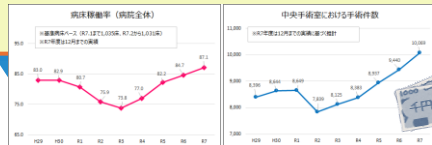


循環型成長モデルと愛知県内4大学との協働による新たな地域医療構想実現プラン

■現状

- 診療への特化、治療実績の向上
- 売上至上主義
- 各種経営指標の向上



名古屋大学医学部附属病院

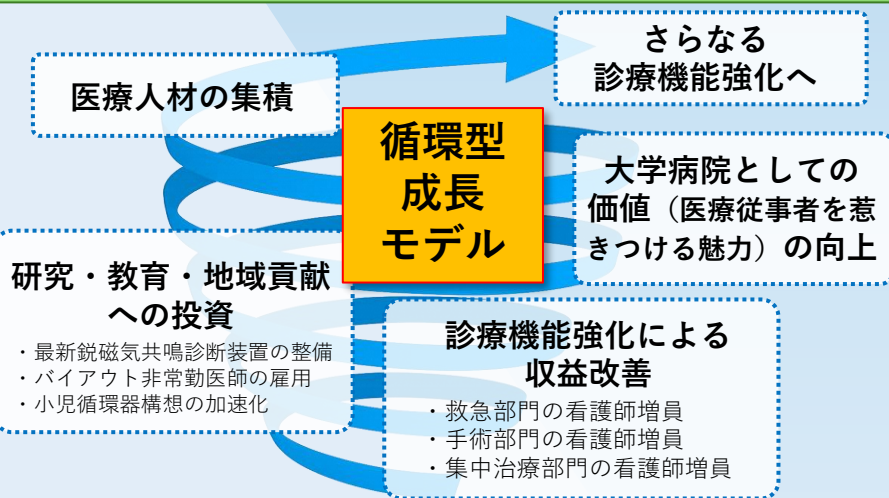
■課題

- 研究時間の減少
- 物価・光熱費・人件費高騰による実体収支の悪化
- 大学病院としての魅力の低下 (一般病院と何が違うのか?)

(これらの課題を解決する取組として...)

●第一の柱：診療改革を軸とした経営改善と、その成果の研究・教育への投資

●第二の柱：県と4大学が協働し、地域医療の中で大学病院の役割を再定義し、運営再構築



土台

経営基盤

診療改革による経営改善

地域全体での医師確保や人材育成

診療機能の強化、収益基盤の安定化

■事業実施体制

病院長のガバナンスと事業コンプライアンスの強化

事業実施WG
事業責任者：総長
事業実施責任者：病院長

←病院改革プランに基づく病院長の
マネジメント体制の強化

常任会 (最高意思決定機関)

議題提案

→合議による実施体制の確保

機構本部との会議体

進捗報告等

→大学本部との連携体制の確保

副病院長に所掌に応じた担当任命

実務内容の検討

→意思決定の透明性の確保と説明責任向上

強固な実施体制による
下支え

強固な実施体制による
下支え

大学病院運営の構造転換へ

診療・教育・研究の調和的發展を実現
地域医療の持続性を支える中核機関としての機能強化
経営基盤の確立を起点とした確固たる土台の形成

